

- ☆「あり方懇」最終報告
- ☆河村勝元副委員長逝去
- ☆民社OB会が総会

第75号 2001年3月1日
(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 真鍋 貞樹
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
和田ビル4階
TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
購読料 年間 2,000円
(会員の購読料は会費の中に含む)

民主社会主義の継承・発展

歴史的使命担う集団・ネットワークに

民社協会のあり方懇談会が2月10日、友愛会館（東京）で行われ、最終とりまとめを行った。中田一郎理事長はこれを16日に行われた役員会に最終報告、承認された。また同日行われた理事会において、25日に開かれる年次総会に向け、最終報告を一部修正の上、平成13年度の活動方針案をまとめた。

民社協会のあり方について（最終報告）

民社協会あり方懇談会

（はじめに）

平成12年4月の総会において、民社協会の存続のあり方について、平成13年総会に向けて一定の結論を見出して行くことが決定された。この決定を踏まえ、衆議院選挙後の平成12年7月5日の理事会において「あり方懇談会」の設置が決定され、議論を積み重ねてきた。以下は過去7回の「あり方懇談会」の議論をとりまとめたものである。

（議論の経過）

「あり方懇談会」の議論は、民主社会主義の思想・政策をどのように継承・発展させていくか、その意義、目的は何か、政党との関係をどのように考えるべきか、そして具体的な組織のあり方はどうあるべきか、を中心に行われた。一方で、ブロック会議が開催され全国的に民社協会のあり方が議論された。また、10月30、31日には「地方議員研修会」で参加地方議員による議論が行われた。「あり方懇談会」開催日程は以下の通りであった。（省略）

（存続のあり方についての議論のまとめ）

11月13日開催の第4回「あり方懇談会」では、過去3回にわたる議論の経過をふまえ、民社協会を「いかなる厳しい状況下にあっても、何らかの形で存続していくべきである」との結論に達した。

民社協会が存続していく意義、目的、性格は、混迷する日本の政治において、中央政治の動向に左右されることなく民主社会主義の伝統を引き継ぎ、さらに発展していくという歴史的使命を担う集団・ネットワークである、という一点に尽きる。そして、その思想・政策集団としての機能における政策研究機能を中央の民社協会が担い、その思想・政策を原資に地方議員のネットワークを形成するものとする。主要事業である各種選挙における候補者の支援については、地域における都道府県民社協会が担うものとする。本部は、こうした各種選挙における地方協会の活動を支援

するとともに、連絡調整の機能を果たすものとする。

（1）民社協会の存在意義

・われわれはわれわれの思想である民主社会主義を21世紀において再構築し、日本の政治の現場においてその歴史的使命と役割を果たしていこうとするものである。

・とりわけ民社協会所属の地方議員にとって民社協会は、イ、地方政界の中での自らのよりどころであり、ロ、思想・信条そして政策を共有できる集まりの場、としての重大な意義を持つものである。

・今日までの地方における民社協会の日常活動は、友愛連絡会と表裏一体のものとなっている。特に地方友愛連絡会の候補者推薦基準は、民社協会への所属が条件となっている。

・今後の民主社会主義勢力の拡大のために、平成13年に行われる参議院選挙が重大であることは議論を待たない。特に比例選挙が非拘束名簿方式となることから、民社協会と友愛連絡会とのより緊密な連携が極めて重要である。

（2）民社協会と政党との関係

政治団体としての民社協会は、政党との関係を密接に持つことによって国政に一定の影響力をもちうると同時に、政党では実現しにくい独自の思想・政策そして運動を展開しうる。この政党と距離感を一定程度常に維持していくことによって、組織の存続と意義を具現化しうると考える。つまり、民社協会は、思想と政策を共有する政党と議員・候補者を支持、支援する団体であるという点を明確にする。従って、個々の選挙における支援は、個々の選挙において逐次確認していくものとする。

具体的に示すとするならば、平成13年の参議院選挙については、比例区は協会所属の民主党の候補者を支援し、選挙区については、民主党を基軸としながら個々の選挙区事情を踏まえて地方協会が支援について決定するものとする。

（3）組織のあり方について

一民社協会本部と都道府県民社協会の役割分担の明確化—
過去の民社党や現行の政党と同じ組織構造を継続して存続することは困難である。従って、中央と地方の組織構造をヒエラルキー型（重層的組織形態）から、ネットワーク型（並立的組織形態）に変えて行く。

民社協会本部は、国会議員、全国の地方協会、地方議員、会員のネットワークの中核となり、思想・政策を研究・発信する機能と、選挙などの諸活動における連絡調整機能を